

まちづくりの目標	5. 魅力あふれるにぎわいと活力のあるまち	主担当課	農林課
小分野	531 農業	関係課	農業委員会事務局、商工観光課、障がい福祉課、学校給食センター

1. 第5次総合計画後期基本計画の成果と課題

	小分野	現状と課題	4年後のまち	指標	4年後のまちに向けて実現できた主な成果	4年後のまちに向けて残した主な課題															
第5次生駒市総合計画後期基本計画	521 農業	<p>本市の農業は、農業振興地域もなく、大都市の近郊であることから宅地開発が進み、住宅や駐車場などへの転用により農地が減少しています。</p> <p>また、担い手の高齢化や後継者不足の問題、遊休農地の増加等の問題が起きています。</p> <p>こうしたことから、基本目標として、「遊休農地の活用、地産地消の推進、新規就農者支援、人に優しい農業の推進、市民とともに育む農のあるまちづくり」の5つの目標を掲げた農業ビジョンを策定しました。今後は、ビジョンの実現に向け、都市住民から新規就農者を含めた農業者までのすべての市民とともに、本市の農業の推進と人に優しい生活環境の保全を図るための取組を行っていくことが必要となっています。</p>	① 市民全体により遊休農地の解消が進められ、新規就農者への支援及び農業基盤の整備が進んでいる。	<p>① 1 遊休農地活用事業面積（アール）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目指す値</th> <th>達成</th> </tr> <tr> <th>H21</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th colspan="2">状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>125</td> <td>497</td> <td>450</td> <td colspan="2">◎</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目指す値		達成	H21	H29	H30	状況		125	497	450	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地活用事業で、非農業者が遊休農地を利用（497a、116筆、209人）</li> <li>遊休農地活用事業で、非農業者が新たに遊休農地を利用する際、草刈や耕耘に要する経費を支援（4人）</li> <li>新規就農者（青年）に対して国の給付金を受給できるよう支援（3人）</li> <li>地元施工による土地改良工事の支援や施工材料の支給支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業者の高齢化や後継者不足、有害鳥獣被害による遊休農地の増加並びに農業基盤の整備</li> <li>地域の農業のあり方について、農家区単位や農村集落における話し合い</li> </ul>
			実績		目指す値		達成														
			H21	H29	H30	状況															
125	497	450	◎																		
② 地産地消と人に優しい農業を推進し、市民と育む農のあるまちづくりが進んでいる。	<p>① 2 青年新規就農者数[累計]（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目指す値</th> <th>達成</th> </tr> <tr> <th>H21</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th colspan="2">状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>12</td> <td>8</td> <td colspan="2">◎</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目指す値		達成	H21	H29	H30	状況		0	12	8	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>青年新規就農者について、就農希望者に農地を斡旋するなど、遊休農地を解消（12人）</li> <li>青年以外の新規就農希望者に農地を斡旋するなど、遊休農地を解消（11人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者数として、目指す値は達成しているが、農業者の高齢化や後継者不足に対応するための担い手の確保</li> </ul>			
実績		目指す値		達成																	
H21	H29	H30	状況																		
0	12	8	◎																		
			② 遊休農地の面積（アール）	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目指す値</th> <th>達成</th> </tr> <tr> <th>H21</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th colspan="2">状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,955</td> <td>9,521</td> <td>8,300</td> <td colspan="2">×</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目指す値		達成	H21	H29	H30	状況		10,955	9,521	8,300	×		<ul style="list-style-type: none"> <li>陶器市と青空市場同時開催することにより、地元新鮮野菜の販売拡大</li> <li>農業に関心をもつ市民の増加を目的に農業体験や農業祭のイベントを実施（1回/年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消の取組の一つとして、学校給食への出荷の拡大</li> </ul>
実績		目指す値		達成																	
H21	H29	H30	状況																		
10,955	9,521	8,300	×																		

2. 第6次総合計画（原案骨子）

第6次総合計画（原案）					
現状と今後5年間の展望	今後5年間の主な課題	5年後のまち (2024年3月末)	指標（複数候補）	行政の5年間の主な取組	具体的な事業
<p>・担い手の高齢化や後継者不足の問題による遊休農地の増加</p> <p>・有害鳥獣の急激な増加</p> <p>・地産地消の取組について市民の浸透不足</p>	<p>・兼業・専業にとらわれず、新規就農者や企業等の新規参入が必要である。</p> <p>・有害鳥獣の被害対策は集落（農家・自治会）と行政の協創が必要である。</p> <p>・地産地消を推進するためのPR</p>	<p>①市民全体により遊休農地の解消が進められ、新規就農者等への支援及び農業基盤の整備が進んでいる。</p>	<p>① 1 遊休農地活用事業で利用されている農地の面積</p> <p>① 2 農地の有効活用を図り、地産地消を進めるため、農家の担い手としての青年の新規就農者の数</p>	<p>① 1 遊休農地の解消を図るため、市民の野菜づくりや、季節感を生かす地域活動を推進していくための相談や支援を行います。（農林課）</p> <p>① 2 遊休農地活用事業の利用者に対して、遊休農地利用開始時に草刈り、耕耘等の支援を実施します。（農林課）</p> <p>① 3 新規就農者を支援するため、農地の斡旋、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援を行います。（農林課・農業委員会事務局）</p> <p>① 4 農業基盤の整備や農地の保全等を図るため、ため池や農道、水路等の農業用施設の改修支援を行います。（農林課）</p> <p>① 5 有害鳥獣被害対策として、防護柵や捕獲檻の設置、狩猟免許取得時に要する費用の支援を行います。（農林課）</p> <p>① 6 農業と福祉の連携に取り組み、地域農業の活性化と障がい者の就労支援を行います。（農林課・障がい福祉課）</p>	<p>① 1 遊休農地活用事業（農林課）</p> <p>① 2 遊休農地活用事業（農林課）</p> <p>① 3 新規就農者支援事業（農林課・農業委員会事務局）</p> <p>① 4 土地改良事業（農林課）</p> <p>① 5 有害鳥獣被害防止対策事業（農林課）</p> <p>① 6 農・福連携事業（農林課・障がい福祉課）</p>
		<p>②地産地消と人に優しい農業を推進し、市民と育む農のあるまちづくりが進んでいる。</p>	<p>② 1 地元の野菜（玉ねぎ、大根、さつまいも）の生産拡大を目指すための学校給食への出荷量</p> <p>② 2 地元農業者が行う地元野菜等の朝市の実施回数（又は人数）</p>	<p>② 1 地産地消を推進するため、学校給食用食材の生産拡大、自主的運営農業者団体づくり、地域農産物の加工品化等の取組を支援します。（農林課・学校給食センター）</p> <p>② 2 地産地消を推進するため、市民や事業者が生産、販売、購入、消費する取組を支援します。（農林課・商工観光課）</p> <p>② 3 地産地消を推進するため、地元飲食店など消費者のニーズ把握に取り組みます。（農林課・商工観光課）</p> <p>② 4 自然と親しむ人づくりのため、農業体験の実施や農業者と都市住民との交流を図ります。（農林課）</p> <p>② 5 市独自の特産品づくりの取組を支援します。（農林課）</p>	<p>② 1 学校給食事業（農林課・学校給食センター）</p> <p>② 2 地場野菜等の販売支援（農林課・商工観光課） 青空市場の開催（農林課） 販売促進イベントの開催（農林課）</p> <p>② 3 地元飲食店等によるワークショップ実施（農林課・商工観光課）</p> <p>② 4 親子ふれあい農業体験事業（農林課）</p> <p>② 5 生駒市農業ビジョン推進懇話会（農林課）</p>

### 3. 庁内連携、市民等との協創のアイデア等

5年後のまち (2024年3月末)	課題解決のために 必要な庁内連携	課題解決のために必要な市民・事業者に 果たしてもらいたい役割	課題解決のために取り組みたい「協創」のアイデア			
			市民と	地域と	事業者・NPO等と	他の行政機関等と
①市民全体により遊休農地の解消が進められ、新規就農者等への支援が進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地の把握をするとともに、新規就農者等への支援を行うため、農業委員会事務局と情報共有など連携をとる。</li> <li>農・福連携を推進するため、障がい福祉課と連携をとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[市民]</li> <li>市民が遊休農地活用事業について関心をもち理解する。</li> <li>[農家]</li> <li>新規就農者や遊休農地利用者が地域に入り込みやすいよう、農家区長をはじめ近隣の農業者が橋渡しや営農指導等の支援をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業施策を進めるため、農業者等から意見等を求める農業ビジョン推進懇話会を開催する。</li> <li>遊休農地を解消するため、遊休農地活用事業への積極的な市民参加を促す。</li> <li>遊休農地を解消するため、新規就農希望者の参入を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農のあるまちづくりとするため、遊休農地を活用した地域住民・農業者・大学等との協創に取り組む。</li> <li>獣害に強い集落づくり（勉強会・ワークショップなど）とするため、地域住民等との協創に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者向け農作業体験を福祉事業所と協創する。</li> <li>親子ふれあい農業体験を農業者と協創する。</li> <li>遊休農地を効果的に活用するため、福利厚生等の目的とした企業と協創する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業に関するノウハウの共有するため、民間や大学等と協創する。</li> <li>農業に関心のある市民向け啓発について、JAと協創する。</li> <li>農業者への支援について、JAと協創する。</li> </ul>
②地産地消と人に優しい農業を推進し、市民と育む農のあるまちづくりが進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナショップ等への出展拡大のため、商工観光課（商工会議所）との連携をとる。</li> <li>学校給食センターへの出荷量を増加させるため、学校給食センターとの連携を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[市民]</li> <li>市民や地元飲食店、事業者（スーパー等）が地産地消について関心をもち理解する。</li> <li>[小売店]</li> <li>市民や地元飲食店、事業者（スーパー等）が地産地消について関心をもち理解する。</li> <li>[事業者]</li> <li>市民や地元飲食店、事業者（スーパー等）が地産地消について関心をもち理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業施策を進めるため、農業者等から意見等を求める農業ビジョン推進懇話会を開催する。</li> <li>地産地消を推進するため、市民の地元野菜等の積極的な購入を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農のあるまちづくりとするため、遊休農地を活用した地域住民・農業者・大学等との協創に取り組む。</li> <li>地元野菜を積極的に使用するため、地元飲食店等と協創する。</li> <li>積極的な地元野菜のPR及び売り場の拡大をするため、事業者（スーパー等）と協創する。</li> <li>農のあるまちづくりのあり方について考えるワークショップ等を地域と取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子ふれあい農業体験を農業者と協創する。</li> <li>農・福マルシェを開催するため、農業者や福祉事業所と協創する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業に関心のある市民向け啓発について、JAと協創する。</li> <li>農業者への支援について、JAと協創する。</li> </ul>